

昭和村における

社会教育関係団体の今昔

徳川時代の『そうけん壮健』や『若い衆』といった呼称や組織は、村誌久呂保によると森下と椋久保には残っていたが、川額、入原、永井では明治末期に解消して青年会となっている。その後婦人会や青年団、PTAなどの諸団体が時代に即した活動を展開してきた。

村内の現状を見た時、婦人会や青年団、老人会などがない地域があるという。私が役場で婦人会などの担当をさせていただけにいたが、こうした状況には幸い遭遇しませんでした。

青年団活動は全盛期を過ぎましたが、国立赤城青年の家や北毛青年の家が完成しましたし、社会教育主事の先生も配置された時代に即した指導がされました。当時の青年団は、団員が結束して特に演劇に力を注ぎ、全国大会に出場。各種優秀賞を獲得し昭和村青年団の存在を全国に知らしめました。このことは現在の青年に引き継がれ、新たな活動が引き継がれている。誠に、うれしいことである。

しかし、昭和村の社会教育関係団体の現状を見た時、将来を見据えて老若男女がしっかりと

取り組んでいかなければならない重要な今日こんにちと考える。

社会教育関係団体とは『法人であるか否かを問わず、公の支配に属しない団体で社会教育に関する事業を行うことを主たる目的とするものをいう。』とあり、社会教育とは『学校教育法に基づき、学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的教育活動(体育及びレクリエーションの活動を含む)をいう。』と社会教育法に定義されている。

私は現在、昭和村老人クラブ連合会会長としてお世話になっている中で、あることに気が付きました。その一つが、皆様とのお茶飲みでした。「お茶飲み」素晴らしいことだ。歳を重ねることも素晴らしいことだと思う。そして「お茶飲み」を通して、多くの仲間と語らい論を広げていけば、明日への楽しい大きな輪が広がっていくことでしょう。そして地域には我々の先輩が残し伝えてきた、歴史文化が脈々と伝わっている。「お茶飲み」を通して次代へと伝わっていくことでしょう。

昭和村ボランティアガイドの会

事務局長 島田 民夫



地域包括支援センターだより

らくらく筋トレ体操などに取り組む ふれあい・いきいきサロンを募集中!!

らくらく筋トレ体操って何？

立つ、歩く、座る、またぐ、昇る、降りる、高いところの物を取る、落とした物を拾うといった日常生活で行う動作に必要な筋力や体の動きを身につけること、保つことを目的にした体操です。



ふれあい・いきいきサロンって何？

同じ地区に住んでいる人や仲の良い仲間が定期的に集まり、らくらく筋トレ体操や趣味活動、お茶のみをしながら交流を深める場所です。昭和村では現在29カ所でサロン活動が行われています。



らくらく筋トレ体操やふれあい・いきいきサロンへの参加
・立ち上げに興味のある方はぜひお問い合わせください。



問合せ 地域包括支援センター ☎ 30-2121

